

第 35 回群馬緩和医療研究会(案)

プログラム

テーマ：「地域包括ケア時代の緩和ケアを考える」
～その人らしい生活を地域で支えるために～

日本医師会生涯教育講座 2 単位

カリキュラムコード： 4,10,12,81

日本緩和医療薬学会認定講習会（申請予定）

日本病院薬剤師会生涯研修認定（申請予定）

日 時：平成 29 年 3 月 4 日（土）13:30～16:30

会 場：玉村町文化センター

群馬県佐波郡玉村町福島 325 TEL 0270-65-0600

参加費： 1000 円（学生 500 円）

当番世話人：群馬県医療ソーシャルワーカー協会 中井 正江

共 催：群馬緩和医療研究会・塩野義製薬株式会社

後 援：群馬県病院薬剤師会・一般社団法人群馬県薬剤師会

*口演の方へ

PC（Windows のみ）によるスライド投影を行います。Microsoft Office PowerPoint（当日は ■■■ を使用）で作成したスライドファイルをメモリースティックに保存の上、研究会参加受付後、各セッション開始 30 分前までにスライド受付に提出してください。

一般演題の発表時間は 5 分（時間厳守）、討議時間は 2 分です。

スライド枚数に制限はありませんが、発表時間内に収まるようにお願いします。

次の演者の方は次演者席にお座りください。

開会の辞 (13:30～) 群馬県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中井 正江

セッション1 口演 (13:33～14:15) (発表5分、討論2分)

座長 友松 幸子 (高崎市医療介護連携相談センター)

1-1. 独居、寝たきりで強い痛みを訴えながらも自宅で愛犬と過ごしたいと望んだ患者の看護
～濃厚な医療処置を必要とした事例を振り返って～

医療法人一步会 緩和ケア診療所・いっぽ

○福田元子、京田亜由美、竹田果南、小笠原一夫

1-2. 当院でKM-CARTを施行した37例(161回)の検討と、印象に残った1事例
～難治性腹水を抱える終末期患者にKM-CARTが役に立てること～

1) 特定医療法人博仁会 第一病院 2) 公益社団法人地域医療振興協会 西吾妻福祉病院

○松下美矢子¹⁾、増田美雪¹⁾、飯塚治美¹⁾、三木涼子¹⁾、小林松江¹⁾、

井上友佳理¹⁾、山崎真由美¹⁾、須永真理子¹⁾、藤森百合¹⁾、塩谷恵一²⁾ 戸塚統¹⁾

1-3. 39年間の維持透析を希望で中止した腎不全患者との50日間の関わり

医療法人社団三思会 くすの木病院

○後藤かほる

1-4. 施設で母を看取った看護師の葛藤と課題

医療法人一步会 緩和ケア診療所・いっぽ

○島野美津子、京田亜由美、福田元子、竹田果南

1-5. 帰りたい患者と子育てによる介護力不足を感じている家族に対する退院支援

1) 公立富岡総合病院 PCU 2) 公立富岡総合病院緩和ケアチーム

○橋本かよ子¹⁾、龍見美江¹⁾、松野裕子¹⁾、上原百恵¹⁾、津金澤理恵子²⁾、石塚裕子²⁾、
野田大地²⁾、山田佳子¹⁾

1-6. 「子供の顔を見て死にたい」～S氏とのかかわりを通して～

群馬県立がんセンター MSW

○北見奈菜子

休憩 (14:15～14:20)

セッション2 口演 (14:20～14:55) (発表5分、討論2分)

座長 野末 睦 (あい太田クリニック)

2-1. 見逃されていた心の痛み

～身体と心の疼痛評価シートを全がん告知患者に使用して気付いたこと～

1) 館林厚生病院 東5階病棟 2) 同 緩和ケアチーム

○浅見綾子¹⁾、横山沙也¹⁾、ホプキンス由貴子¹⁾、成田美和¹⁾、安齋玲子²⁾、阿部君代¹⁾、中村敏之¹⁾²⁾

2-2. 緩和ケアに携わる医師・看護師が緩和ケアチームに求める期待

～緩和ケアに携わる当院の医師・看護師緩和ケアチームに関する意識調査より～

国立病院機構高崎総合医療センター 緩和ケアチーム

○宮崎亜耶子、吉澤幸枝、熊谷有希子、小林加奈、丸山広貴、平井尚子、櫻井史子、羽鳥裕美子、清水弘子、頓所あかね、大野昭一朗、佐藤麻里、井田逸朗、田中俊行

2-3. 地域における緩和ケア病棟の意義 ～ソーシャルワーカーの視点から～

国立病院機構渋川医療センター

○落合翼

2-4. 伊勢崎地域の緩和ケアにおける地域連携（伊勢崎地域緩和ケアネットワーク）の
これまでとこれから

1) 伊勢崎市民病院 緩和ケア内科 2) 同 地域連携課

○廣野正法¹⁾、高橋博明²⁾

2-5. 人生の最終段階における意思決定支援

～シルバーケア中心の地域包括ケア病棟を開設して～

公立富岡総合病院 3B病棟

○井田てる恵、藤井智代

休憩 (14:55～15:05)

セッション3 基調講演 (15:05～16:05)

「 ACP が日本を変える 」

演者 佐藤尚文 (公立富岡総合病院 病院長)
座長 尾方仁 (国立病院機構渋川医療センター)

総 括 群馬緩和医療研究会代表世話人 斎藤 龍生
(国立病院機構渋川医療センター)

次回開催案内 第36回当番世話人 [REDACTED]
([REDACTED])

閉会の辞 [REDACTED]